

あしや子ども風土記 芦屋の地名をさぐる⑦

町名のいろいろ(5)

芦屋の町名は、山と海の豊かな自然環境や、古代から現代にかけて起こったさまざまな出来事が、町名に受け継がれています。

由来を考えていくことで、人々の暮らしと町名の関わりや、地域の歴史や文化の再確認をすることができると思います。

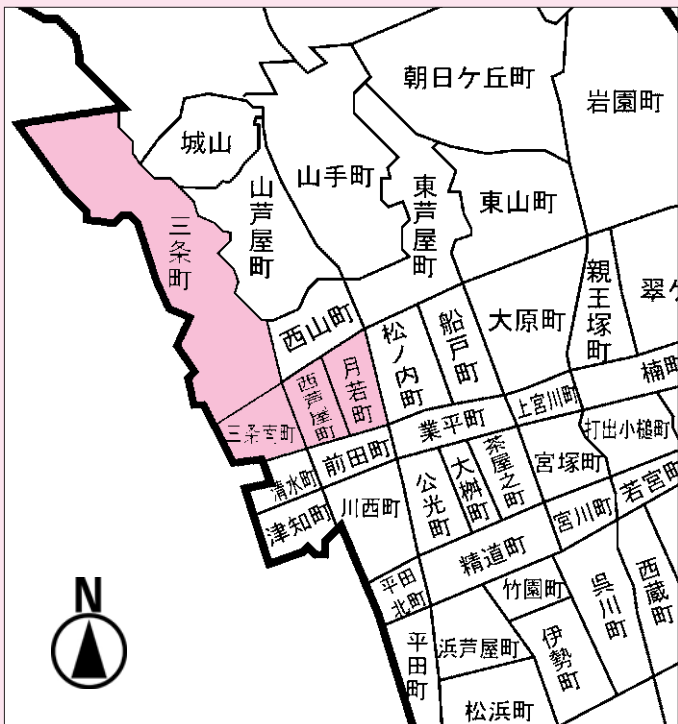
三 条 町

三条という名前は、京都の三条からとった(『三条村誌』)とする説や奈良時代の耕地区分である条里制に基づいて付けられたとする説があります。小字名には屋敷地を示すような畦垣内や南垣内などもみられ、江戸時代の本には、三条八幡神社の北側に三条村があったと書かれています。昭和十九年(一九四四)の町名改正のときには、この三条村の三条をとって町名が付けられました。小字名には古墳が多くあつた

ことを示す塚穴や、水車のあつたところに車場などがあります。町内には、山手中学校の裏山にある会下山遺跡や三条古墳群などの遺跡があり、古い歴史をもった町といえます。



三条八幡神社



三 条 南 町

芦屋市がまだ精道村と呼ばれていたころ、現在の三条町と三条南町は、大字名三条と呼ばれていました。昭和十九年(一九四四)の町名改正のときに、大字名三条を二つに分け、阪急神戸線の北を

三条町、南を三条南町としました。旧三条村の南側であることから、三条南町と名付けられたよつです。三条南町には町名が改正される以前、西良手・小奇などの小字名がありました。

西良手には西良手池と呼ばれるため池がありました。町内には、縄文時代から江戸時代まで続く寺田遺跡があります。とくに平安時代の建物群は、官衙(役所)の跡ではないかとともいわれています。

●平成九年に発行した「あしや子ども風土記 芦屋の地名をさぐる」を紹介しています。ここでは、発行当時の原文に近い状態で引用しています。



西芦屋町の町並み(震災前)

月 若 町

月若町から西芦屋町・三条町の地域は、古くから開発された古墳やムラの遺跡が発掘されています。月若遺跡は古墳時代のムラの跡です。

「月若」は父の藤左衛門尉家俊から譲られた領地や本家の地位を叔父の藤栄に奪われていました。運よくこの地方に回ってきた鎌倉幕府の実力者の北条時頼の助けを受け

西 芦 屋 町

て、もとの領地を取り戻したという謡曲「藤栄」の主人公です。月若橋・月若公園の名称も、この物語によります。小字名の「古屋敷」は、家俊のよくな有力な武士の屋敷があつたと思われる地名です。そして、北ノ口・西ノ口・南ノ口は、この屋敷にあつた出入口を表しているのかもしれない。



白 橋

芦屋廃寺の北の丘には、巨石を使った古墳がたくさん造られています。南の平野には、寺田遺跡から大型柱の倉庫、月若遺跡から古墳時代の集落が発掘されています。江戸時代には西芦屋の中心の一つでした。小字名の岸の下は、南のもう一段低い土地を開墾したことを表しています。

武庫川女子大学 オープンカレッジ



- ▶ **受付開始日**
4月5日(月)から電話で受講申し込み開始
講座によってお申し込み日が変わります。
お届けする講座案内でお確かめください。
- ▶ **受講資格**
男女年齢を問いません。
勉強意欲があれば、どなたでも会員になれます。
- ▶ **会員特典**
本学の中央図書館が利用できます。(利用カード発行手数料が必要ですが)特別学期期間中(1月~2月)大学の正規の講義を学生とともに無料で受講できます。

平成22年度春学期のご案内 (4月19日より随時開講) 広告

- ▶ **開講講座**
小筆で源氏物語/万葉集/源氏物語/近松門左衛門
日本語講座/聖書/座禅/心理学/女声合唱
アリアを歌う/水彩画/パステル画/淡彩画/デッサン
人物画/英語/中国語/食文化/ジャイロキネシス
太極拳...等 **多彩な計37講座**
8~11回授業 各10,000円~22,000円(別途会員登録料3年:3,000円)
講座内容はHPでもご覧いただけます。
URL <http://www.mukogawa-u.ac.jp/~opencoll/>
- ▶ **随時資料請求・お問い合わせ受け付けます。**
TEL.0798-67-1450 (ただし 3/20~3/31除く)
月~金 10:00~16:00 土・日・祝日は受け付けておりません。